データコレクター

Z-1170

取扱説明書

はじめにお読みください

この度はバーコードスキャナーのお買い上げありがとうございます。

本マニュアルでは、PDC（ポケットサイズパーソナルデータコレクター）を使用するにあたり、事前の準備、設定方法等について記載してあります。

本 PCD はスキャンした結果を示すための LCD ディスプレイとともに、ブザー、二色のステータス LED、外部装置と更新するための UART ポートを備えています。オンボード 32K EEPROM は、強くて安定したプログラム可能な記憶スペースを提供します。PDC は 1000 以上の記録を保持することができます。（※バーコードの桁数等によります）

本 PDC には「FREETASK」という基本的なデータコレクションプログラムが設定されています。スキャンしたデータを記憶、編集できます。データは USB ケーブルで PC にアップロードできます。その際 PDC は、バーチャル COM ポートとして認識されます。

添付の CD-ROM に入っているユーティリティ「WinTaskGen」でデータコレクションプログラムを作成できます。
Task は 4 つのデータ形式まで持つことができ、1 形式につき最大 16 のデータフィールドを持つことができます。

目次

パッケージ内容・・・

目次

設定の初期化【工場出荷状態に戻す】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
Win Task Gen ユーティリティの説明
アップロード画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
ステータス表示・各種設定画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
バーコード読み取り設定画面
EAN UPC JAN・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
Code39・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
Codabar（NW-7）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
ITF 2 of 5・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
Code93・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
Code128・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
CPC25【China Postal Code】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
Premable/Postanble(先頭/末尾にデータを付加)・・・・・・・・・・・・・・・５２
同梱 CD 内のサンプルタスクについて
Code39 (最大読み取り桁数の増加)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
２度読み防止タスク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
DATA 照合タスク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
タイムスタンプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９

パッケージ内容

- PDC 本体　1 台

- USB シリアルインターフェイスケーブル　1 本

- 単 4 NiMH 充電池　3 本

- 電源アダプタ　1 個

- サポート CD-ROM（日本語マニュアル含む）　1 枚

各部の名称

スキャンウィンドウ
LCD ディスプレイ
LED インジケーター
Up キー
SCAN
FN
Down キー
ファンクション キー
スキャン キー
ケーブル接続ポート

ご使用する際の準備（必ずお読みください）

PDC をご使用する際には、以下のの準備が必要になります。
マニュアルを参照して準備をしてください。

- PDC にバッテリーを取り付ける（4 ページ）
- PDC の充電（13 ページ）
- ケーブルドライバーのインストール（5 ページ～）
- ユーティリティ「WinTaskGen」のインストール（8 ページ～）

準備を行いましたら、「PDC の使い方」（12 ページ～）を参照してご使用ください。

バッテリーについて（取り付け）

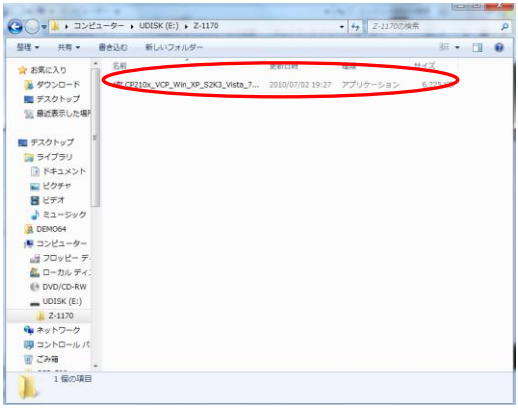
PDC では単 4 形ニッケル水素電池（NiMH）を使用しております。バッテリーを挿入したら AC アダプタを接続して充電して下さい。
初めて新しいバッテリーを取り付けた場合は、使用する前にフルに充電してください。この NiMH 充電池は、ピークのパフォーマンスと能力に達するには、3～5 回放電が必要です。使用している際にかなり早く放電されることがあります。これは、この種のバッテリーでは通常の状態です。

NiMHバッテリーは充電する前に完全に放電するまで使用することを推奨します。
完全に放電する前に充電しますと、自己抑制モードに入ることがあります。
理想的な状態であれば、NiMHバッテリーはほぼ何度でも再充電可能です。
電池をセットで使えばより良い性能を得ます。古いものと新しいものを混ぜて使わないで下さい。
注記）ある程度の期間（2ヶ月あるいはそれ以上）PDCを使わない場合には、バッテリーを取り外して下さい。PDCをオフにしていても、ごく少量の電源を消費します。

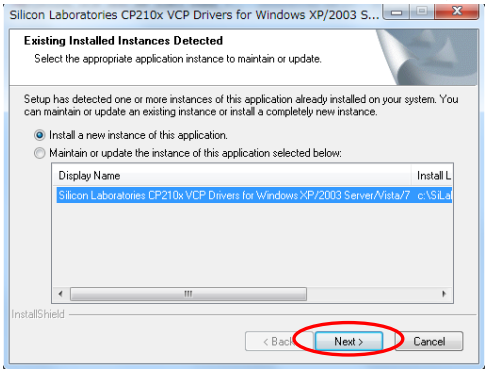
バッテリーの取り付け

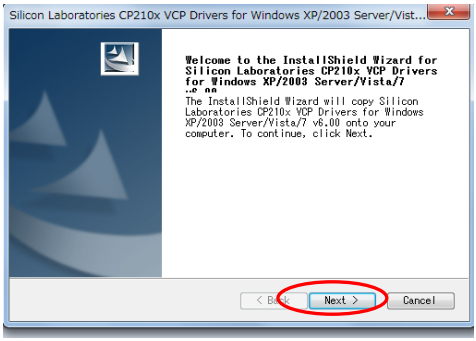
ケーブルドライバーのインストール ※製品同梱の USB シリアルインターフェイスケーブルのみ

Z-1170 のフォルダにある”CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7.exe”をダブルクリックします。

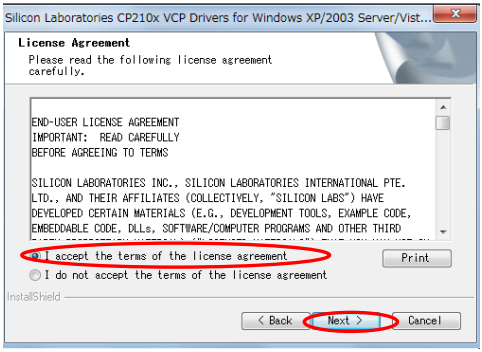


下図の画面になりましたら“NEXT”をクリックします。

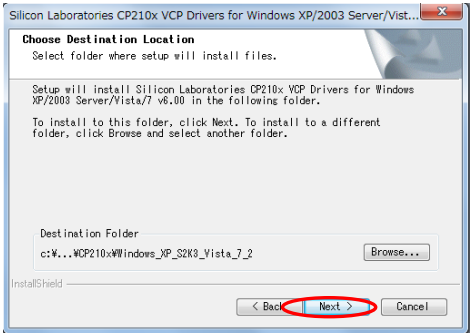




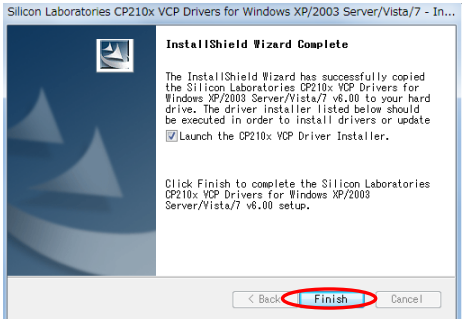
下図の画面になりましたら、”I accept the terms of the licene agreement”にチェックをし、”Next”をクリックします。


Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vist...
License Agreement
Please read the following license agreement carefully.
END-USER LICENSE AGREEMENT
IMPORTANT: READ CAREFULLY
BEFORE AGREEING TO TERMS
SILICON LABORATORIES INC., SILICON LABORATORIES INTERNATIONAL PTE. LTD., AND THEIR AFFILIATES (COLLECTIVELY, "SILICON LABS") HAVE DEVELOPED CERTAIN MATERIALS (E.G., DEVELOPMENT TOOLS, EXAMPLE CODE, EMBEDDABLE CODE, DLLs, SOFTWARE/COMPUTER PROGRAMS AND OTHER THIRD
I accept the terms of the license agreement
I do not accept the terms of the license agreement
Print
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

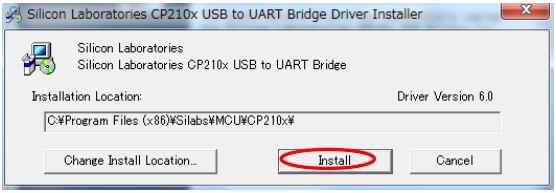
インストールファイルの保存先を変更する場合は、変更し、”Next”をクリックします。


Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vist...
Choose Destination Location
Select folder where setup will install files.
Setup will install Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 v6.00 in the following folder.
To install to this folder, click Next. To install to a different folder, click Browse and select another folder.
Destination Folder
c:¥...¥CP210x¥Windows_XP_S2K3_Vista_7_2
Browse...
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

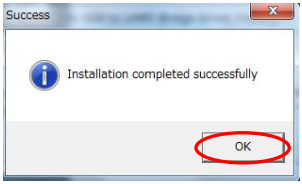
インストールが終わりましたら”Finish”をクリックします。


Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 - In...
InstallShield Wizard Complete
The InstallShield Wizard has successfully copied the Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 v6.00 to your hard drive. The driver installer listed below should be executed in order to install drivers or update
Launch the CP210x VCP Driver Installer.
Click Finish to complete the Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 v6.00 setup.
< Back
Finish
Cancel

続いて下図が表示されましたら“Install”をクリックします。



下図が表示されましたら、”OK”をクリックします。



最後にインストールの確認を行いますので、デバイスマネージャを開きます。

XP の場合、

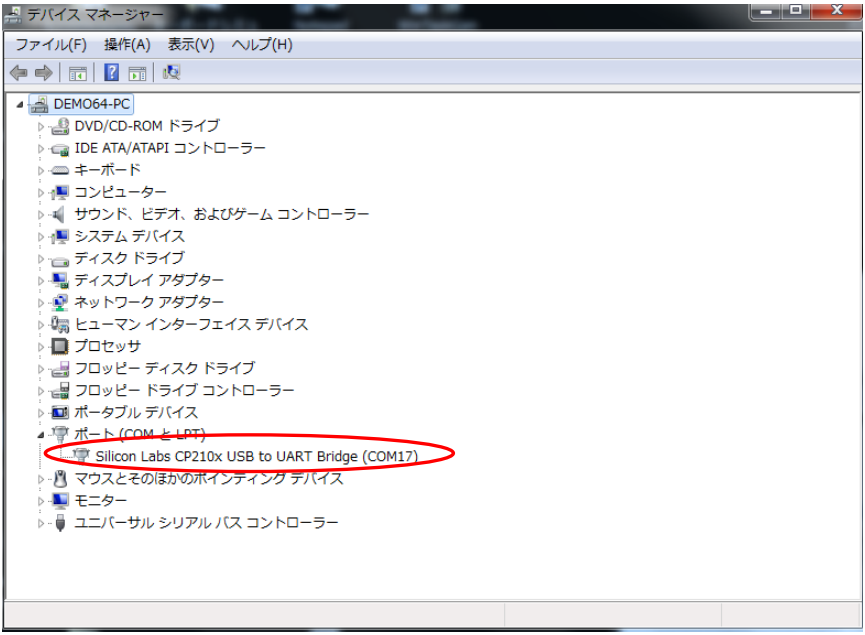
“マイコンピュータ”を右クリック“プロパティ”→“ハードウェア“タブ→デバイスマネージャをクリックします。

7 の場合、

“コンピュータ”を右クリック“プロパティ”→左側の“デバイスマネージャ”をクリックします。

下図のように（COM〇〇）と表示されれば成功です。

※！マークや？マーク等の黄色のマークがついている場合は、PC を再起動してみてください。



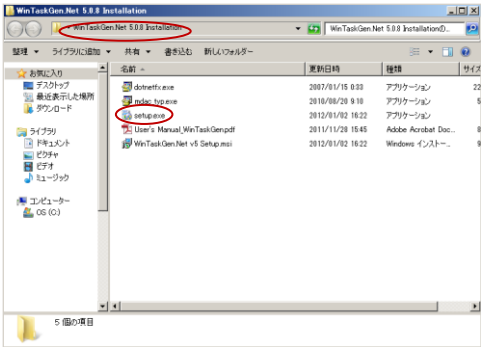
ユーティリティ「WinTaskGen」について（インストール）

同梱されているユーティリティ「WinTaskGen」をインストールしますと、PDC を PC に接続して以下のことができます。

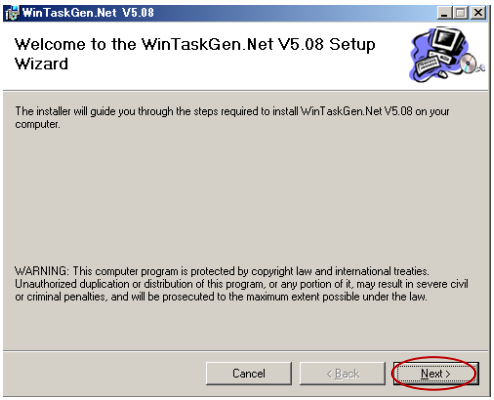
- PDC でスキャンしたバーコードデータの PC へのアップロード
- PDC 内のプログラム（タスク）の作成
- 作成したタスクを PDC へダウンロード
- バーコードスキャン時のフィルター設定
- COM ポートの通信設定
- PDC のその他の設定（時間、ビープ音等）

「WinTaskGen」のインストール方法

① CD-ROM 内の「WinTaskGen***」（「***」はバージョン）内の「Ver***」フォルダにある「SETUP.EXE」を実行します。



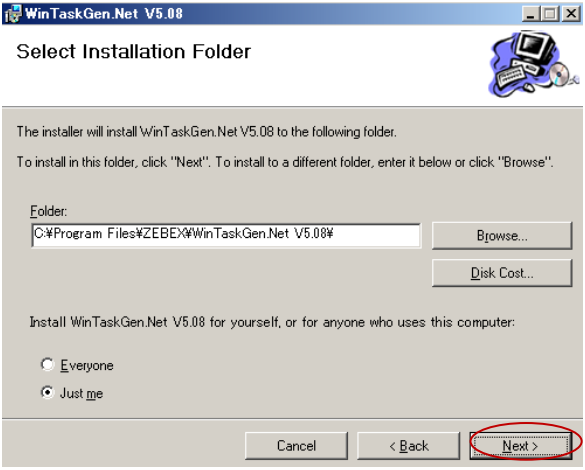
② 「Welcome」画面が表示されますので、[Next >]ボタンをクリックします。


WinTaskGen.Net V5.08
Welcome to the WinTaskGen.Net V5.08 Setup Wizard
The installer will guide you through the steps required to install WinTaskGen.Net V5.08 on your computer.
WARNING: This computer program is protected by copyright law and international treaties. Unauthorized duplication or distribution of this program, or any portion of it, may result in severe civil or criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent possible under the law.
Cancel
< Back
Next >

ユーティリティ「WinTaskGen」について（インストール）

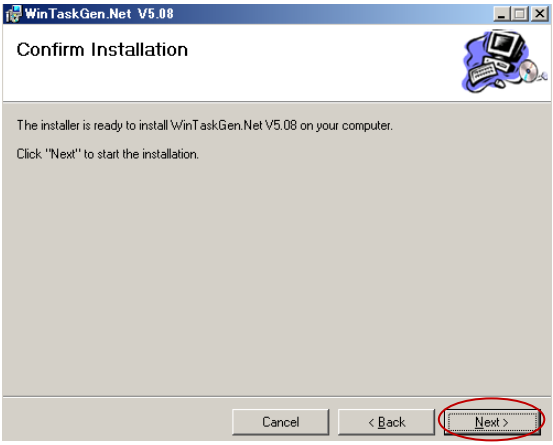
『「WinTaskGen」のインストール方法』の続き

③ 「インストール先選択」画面が表示されます。インストール先を変更する場合は[Browe...]ボタンをクリックして変更してください。
[Next >]ボタンをクリックします。



④

[Next >]ボタンをクリックします。



終わりましたら[CLOSE]をクリックして終了です。

PDC の使い方

ここでは PDC の電源の入れ方、切り方、充電方法、バーコードデータの読み取り方法等を説明します。

電源の入れ方

PDC の[Up（∧）]ボタンと[Down（∨）]ボタンを同時に押しますと電源が入ります。

※デフォルトの設定では 3 分経つと自動的に電源が切れる設定になっています。

電源の切り方

PDC の「ブートアップスクリーン」を表示させます。（表示されている画面にもよりますが、[FN]ボタンを何回か押すと表示されます）
[FN]ボタンを長押ししますと PDC の電源が切れます。

PDC の使い方

PDC の充電方法

① PDC に USB シリアルインターフェイスケーブルもしくは別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを接続します。

② AC アダプタを USB シリアルインターフェイスケーブルもしくは別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルの「Power Link」と表示されているソケットに接続します。

③ AC アダプタのプラグをコンセントに挿入しますと PDC が充電されます。充電中は PDC の LED インジケーターが赤く点灯します。LED インジケーターが消えると充電完了となります。充電には約 4～6 時間かかります。

PDC の使い方

バーコードデータの読み取り方法

① PDC の電源を入れます。（P12「電源の入れ方」を参考にしてください）
電源を入れますと、「データ読み取り」画面が表示されます。

② [SCAN]ボタンを押しますとレーザーが照射されますのでバーコードにかざし読み取ります。
スキャンが成功しましと、ビープ音が鳴り次のバーコードを読み取ることができます。

PDC の使い方

蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード

PDC に蓄積されている読み取ったデータを PC にアップロードする方法は 3 種類あります。

- 「WinTaskGen」ユーティリティを使用して PC にアップロード
- 「ハイパーターミナル」を使用して PC にアップロード
- 別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用して PC にアップロード

3 種類の説明を記載します。

「WinTaskGen」ユーティリティを使用

① PDC と USB シリアルインターフェイスケーブルを接続します。

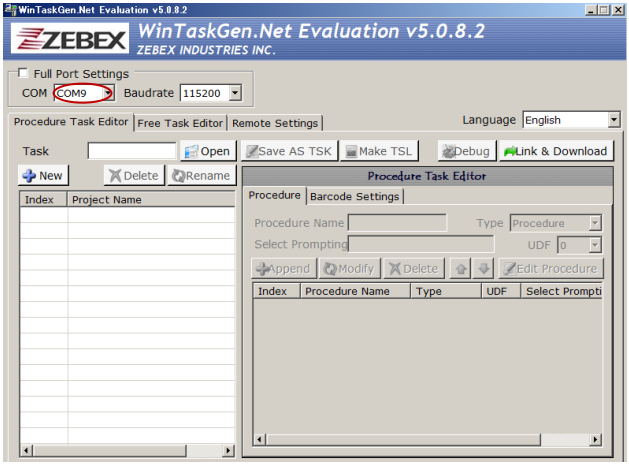
② USB シリアルインターフェイスケーブルを PC の USB ポートに接続します。

③ PDC の電源を入れて「ブートアップスクリーン」画面を表示させます。
Win TASK GEN との接続の際は必ずこの画面にしてください。

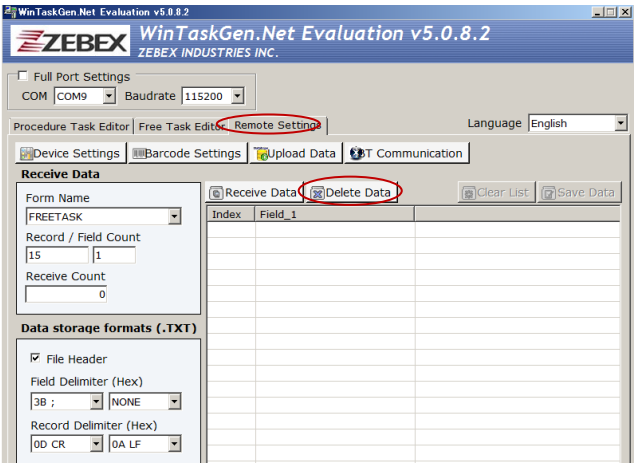
PDC の使い方

『蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード』の『「WinTaskGen」ユーティリティを使用』の続き

④ 「WinTaskGen」を起動します。
COM のリストから、**COM ポートの番号**を「デバイスマネージャ」で確認し設定をします。



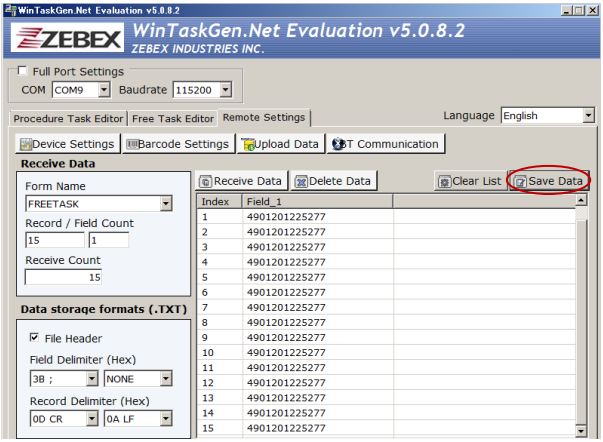
⑤ “Remote Settings”タブを選び”Receive Data”をクリックします。



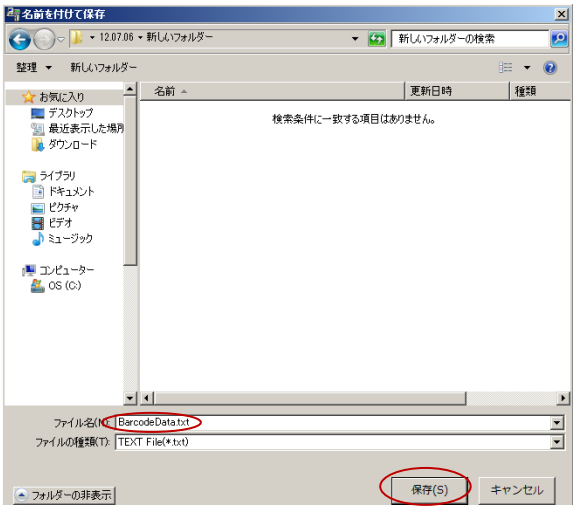
PDC の使い方

『蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード』の『「WinTaskGen」ユーティリティを使用』の続き

⑥ 下図のように読み込んだバーコードが表示されます。
保存する場合は、“Save Data”をクリックしますと、テキストファイルとして保存できます。



⑦ 下図の画面が表示されましたら、保存先と保存ファイル名を決定し、[保存]をクリックします。



PDC の使い方

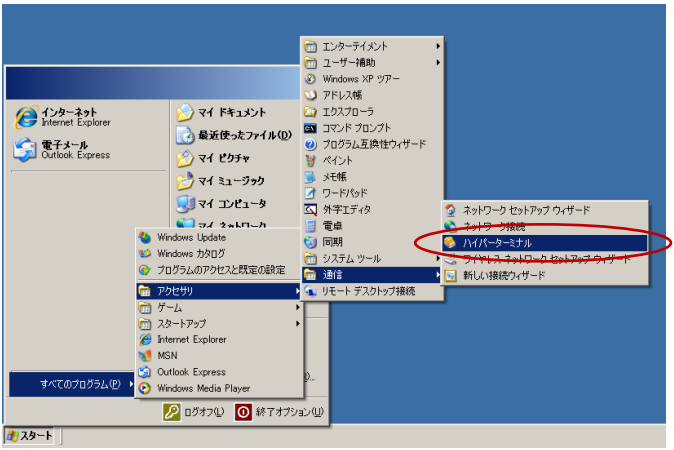
「ハイパーターミナル」を使用

ハイパーターミナルは windowsXP に搭載されているユーティリティになります。
Windows7 にはございませんのでご了承ください。

① PDC と USB シリアルインターフェイスケーブルを接続します。

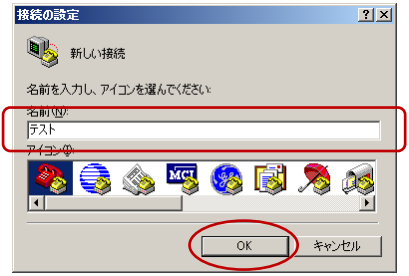
② USB シリアルインターフェイスケーブルを PC の USB ポートに接続します。

③ 「ハイパーターミナル」を起動させます。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」

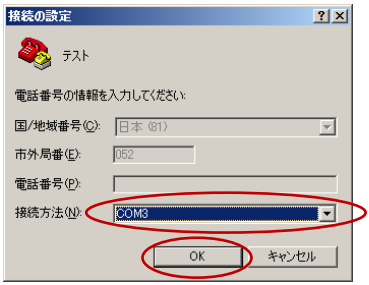


PDC の使い方

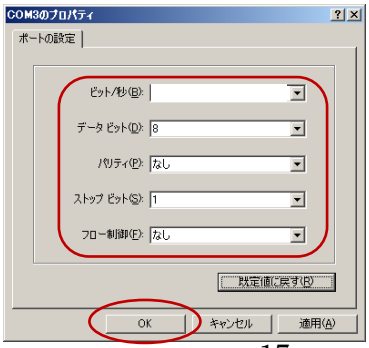
④ 「接続の設定」画面が表示されますので、任意の名前を入力して[OK]ボタンをクリックします。



⑤ 次の「接続の設定」が表示されますので、「デバイスマネージャ」で COM ポート番号を確認して[接続方法]より同じポート番号を選択します。



⑥ 「ポート設定」画面が表示されますので、以下のように設定します。



ビット/秒　= 115200
データビット　= 8
パリティ　= なし
ストップビット　= 1
フロー制御　= なし

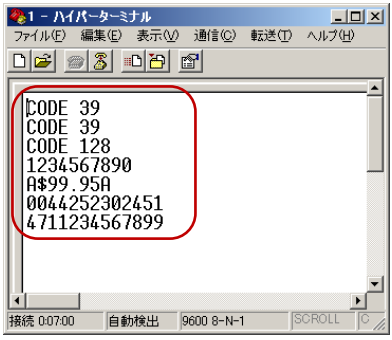
PDC の使い方

『蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード』の『「ハイパーターミナル」を使用』の続き

⑦ PDC の電源を入れ「メニュー」画面を表示させます。
「データ読み取り」画面だった場合は、[FN]ボタンを押して「ブートアップスクリーン」を表示させ、[SCAN]ボタンを押します。

⑧ [Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「4.データアップロード」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

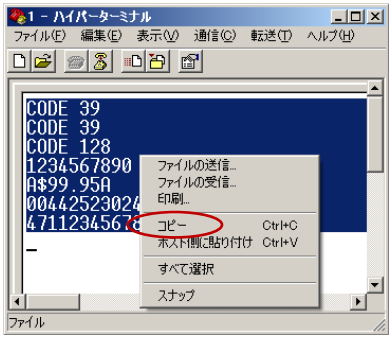
⑨ 「アップロード開始」画面が表示されますので、[SCAN]ボタンを押します。そうしますとハイパーターミナルの画面にアップロードされたデータが表示されます。



PDC の使い方

『蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード』の『「ハイパーターミナル」を使用』の続き

「ハイパーターミナル」内のデータを選択してコピーして「メモ帳」等に貼りつけます。



別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用

USB キーボードインターフェイスケーブルを使用する際は PDC 側のインターフェイスの設定を変更しておく必要があります。P31～P34 を参考に事前に設定をしておいてください。(「Online Send Rec」画面は「Disable」にする)

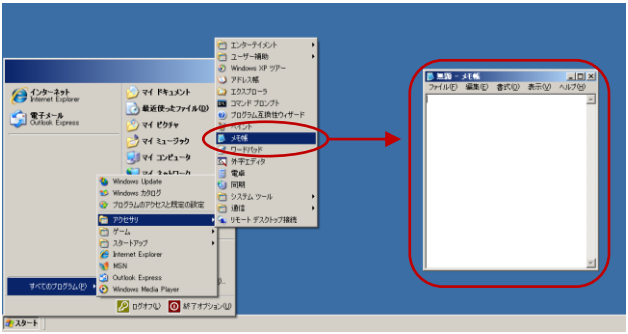
① PDC と USB キーボードインターフェイスケーブルを接続します。

② USB キーボードインターフェイスケーブルを PC の USB ポートに接続します。

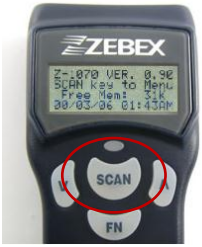
PDC の使い方

『蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード』の『別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用』の続き

③ PC で「メモ帳」や「Excel」を起動してアクティブな状態にしておきます。



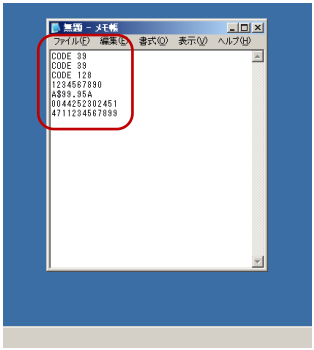
④ PDC の電源を入れ「メニュー」画面を表示させます。
「データ読み取り」画面だった場合は、[FN]ボタンを押して「ブートアップスクリーン」を表示させ、[SCAN]ボタンを押します。



⑤ [Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「4.データアップロード」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

『蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード』の『別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑥ 「アップロード開始」画面が表示されますので、[SCAN]ボタンを押します。そうしますと「メモ帳」や「Excel」のセル等にアップロードされたデータが入力されます。



オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード

PDC を USB シリアルインターフェイスケーブルおよび別売りの USB キーボードインターフェイスケーブル経由で PC にリアルタイムにスキャンしたデータをアップロードします。
USB シリアルインターフェイスケーブル経由ですと「ハイパーターミナル」のみです。
別売りの USB キーボードインターフェイスケーブル経由ですとキーボード入力となり、アクティブで入力可能なセルやテキストボックスにスキャンしたデータがリアルタイムに入力されます。

USB シリアルインターフェイスケーブルを使用

① PDC と USB シリアルインターフェイスケーブルを接続します。

PDC の使い方

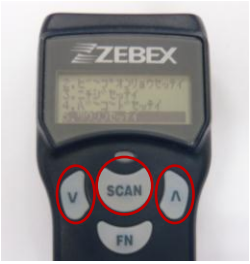
『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『USB シリアルインターフェイスケーブルを使用』の続き

② USB シリアルインターフェイスケーブルを PC の USB ポートに接続します。

③ PDC の電源を入れて、「メニュー」画面を表示させます。
「データ読み取り」画面だった場合は、[FN]ボタンを押して「ブートアップスクリーン」を表示させ、[SCAN]ボタンを押します。

④ [Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「3.セットアップ」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

⑤ [Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「5.ツウシンセッテイ」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。



『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『USB シリアルインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑥ 「インターフェースセンタク」画面が表示されますので、[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「RS-232C(USB シリアル)」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

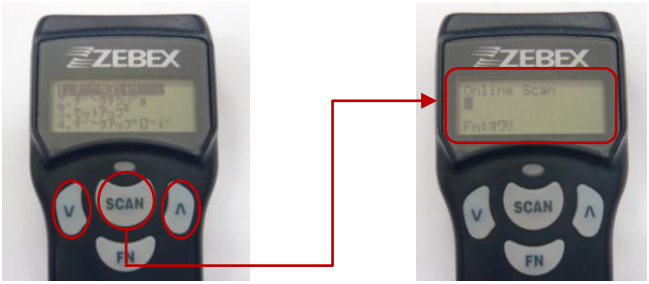
⑦ 「Online Send Rec」画面が表示されるまで、[SCAN]ボタンを押します。[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「Enable」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。
「Enable(有効)」を選択することによりオンラインで読み取る設定になります。「Disable(無効)」を選択しますと読み取ったデータを PDC 内に蓄積します。

⑧ 「Offline Operate」画面が表示されます。[SCAN]ボタンを押しますと設定が完了されます。

『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『USB シリアルインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑨ 「セットアップ」画面が表示されますので、[FN]ボタンを一度押します。

⑩ 「メインメニュー」画面が表示されますので、[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「1.データヨミトリ」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。
「オンライン読み取り」画面が表示されることを確認します。
※「1.データヨミトリ」で[SCAN]ボタンを押したときに「MEMORY FULL!」と表示される場合があります。その時は一旦「ブートアップスクリーン」画面まで戻り、再度「メインメニュー」画面を表示させて「1.データヨミトリ」で[SCAN]ボタンを押します。



PDC の使い方

別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用

① PDC と USB キーボードインターフェイスケーブルを接続します。

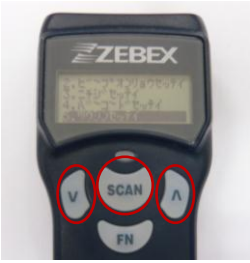
② USB キーボードインターフェイスケーブルを PC の USB ポートに接続します。

③ PDC の電源を入れて、「メニュー」画面を表示させます。
「データ読み取り」画面だった場合は、[FN]ボタンを押して「ブートアップスクリーン」を表示させ、[SCAN]ボタンを押します。

④ [Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「3.セットアップ」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑤ [Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「5.ツウシンセッテイ」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。



⑥ 「インターフェースセンタク」画面が表示されますので、[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「USB HID キーボード」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

⑦ 「HID Language」画面が表示されますので、PC のキーボード言語を確認して、[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで任意の位置までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑧ 「Delay Setup（文字間遅延）」画面が表示されますので、設定をして、[SCAN]ボタンを押します。

設定の際の[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンの機能

[Up（∧）]ボタン・・・カーソルがある位置の数値をカウントアップ

[Down（∨）]ボタン・・・カーソルがある桁の位置を移動

⑨ 「Data Terminator（改行コード）」画面が表示されますので、[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンで任意の位置までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

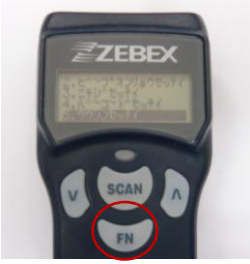
『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑩ 「Online Send Rec」画面が表示されるまで、[SCAN]ボタンを押します。[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「Enable」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。
「Enable(有効)」を選択することによりオンラインで読み取る設定になります。「Disable(無効)」を選択しますと読み取ったデータを PDC 内に蓄積します。

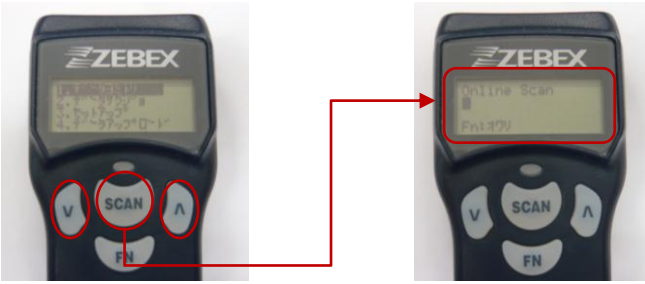
⑪ 「Offline Operate」画面が表示されます。
「Enable(有効)」を選択しますと、ケーブルが接続されていない場合はメッセージが表示され、PDC 本体にデータを蓄積するように切り替わります。その時は、「メインメニュー」画面の「4.データアップロード」より PC にアップロードします。
「Disable(無効)」を選択しますと、ケーブルが接続されていない場合はメッセージが表示され、ケーブルが接続されるまで読み取りができなくなります。
[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで任意の設定までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。

『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑫ 「セットアップ」画面が表示されますので、[FN]ボタンを一度押します。



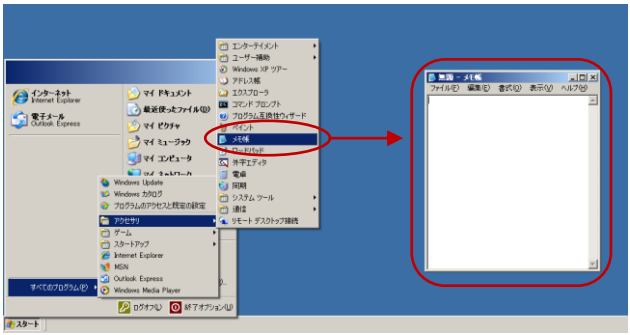
⑬ 「メインメニュー」画面が表示されますので、[Up(∧)]ボタン、[Down(∨)]ボタンで「1.データヨミトリ」までカーソルを持っていき、[SCAN]ボタンを押します。
「オンライン読み取り」画面が表示されることを確認します。
※「1.データヨミトリ」で[SCAN]ボタンを押したときに「MEMORY FULL!」と表示される場合があります。その時は一旦「ブートアップスクリーン」画面まで戻り、再度「メインメニュー」画面を表示させて「1.データヨミトリ」で[SCAN]ボタンを押します。



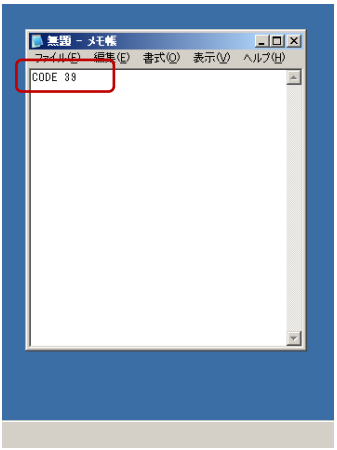
PDC の使い方

『オンラインでリアルタイムに読み取ったデータを PC にアップロード』の『別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用』の続き

⑭ PC で「メモ帳」や「Excel」を起動してアクティブな状態にしておきます。



⑮ PDC でバーコードをスキャンしますと、「メモ帳」や「Excel」でデータが入力されます。



「データ読み取り」画面の説明

「データ読み取り」画面の説明をします。

- [SCAN]ボタン
  読み取り口よりレーザーが照射されバーコードをスキャンします。
- [FN]ボタン
  「メインメニュー」画面へ戻り、読み取りを終了します。
- [Down(∨)]ボタン
  読み取ったデータの確認ができます。(Online 読み取り時以外)
  一度[Down(∨)]ボタンを押しますと、一番最後に読み取ったデータが表示されます。[Up(∧)]ボタンを押すたびに、より古いデータが表示されます。[Down(∨)]ボタンを押すたびに、より新しいデータが表示されます。

「メインメニュー」画面の説明

「メインメニュー」画面には 4 つの項目があります。
[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンで任意の場所へカーソルを移動させ
[SCAN]ボタンを押します。

「1.データヨミトリ」

「バーコード読み取り」画面へ移動します。バーコードをスキャンすることができます。

「2.データサクジョ」

蓄積されているデータを削除します。
蓄積されたデータがなければ、ビープ音と共に「No data Exist」と表示されます。表示された場合はボタンを押すと「メインメニュー」画面に戻ります。
蓄積されたデータがある場合は削除確認メッセージが表示されます。[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンで「Y（削除）」、「N（削除しない）」を選択し、[SCAN]ボタンを押します。

「メインメニュー」画面の説明

「3.セットアップ」

各種設定を行います。設定できる項目は以下のものです。

- 液晶の濃度設定
- ビープ音の設定
- 日時の設定
- バーコードの読み取り設定
- 通信設定
- 自動電源オフ設定
- パスワード設定

P40～の「セットアップ画面（設定）の説明」を参照してください。

「4.データアップロード」

PC へデータをアップロードします。

P15～の「使い方」の「蓄積させた読み取ったデータを PC にアップロード」を参照してください。

「セットアップ」画面（設定）の説明

「セットアップ」画面では各種設定を行います
「メインメニュー」画面で[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンで「3.セットアップ」へカーソルを移動させ[SCAN]ボタンを押します。
「セットアップ」画面が表示されますので[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンで設定したい任意の場所へカーソルを移動させ[SCAN]ボタンを押します。

「1.エキショウノウドセッテイ」

液晶の濃度の設定になります。設定値は 1～22 となっております。
[Up（∧）]ボタンを押すたびに液晶濃度が濃くなります。
[Down（∨）]ボタンを押すたびに液晶濃度が薄くなります。
[SCAN]ボタンを押しますと、設定が完了されます。
[FN]ボタンを押しますと、設定がキャンセルされます。

「セットアップ」画面（設定）の説明

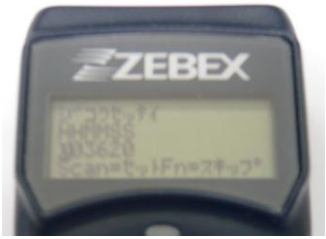
「2.ビープオンリョウセッテイ」

PDC から発せられるビープ音のボリューム設定になります。
音量は「なし」・「小」・「中」・「大」の範囲となります。
[Up（∧）]ボタンを押すたびにビープ音が大きくなります。
[Down（∨）]ボタンを押すたびにビープ音が小さくなります。
[SCAN]ボタンを押しますと、設定が完了されます。
[FN]ボタンを押しますと、設定がキャンセルされます。

「3.ニチジセッテイ」

日付、時刻の設定になります。
最初に日付の設定になります。
入力フォーマットは「月（MM）・日（DD）・年（YY）」となります。
[Up（∧）]ボタンを押すたびにカーソルが当たっている数値がカウントアップします。
[Down（∨）]ボタンを押すたびにカーソルが右へ移動します。
[SCAN]ボタンを押しますと、設定され、「時刻の設定」画面へ移動します。
[FN]ボタンを押しますと、日付の設定がスキップされ「時刻の設定」画面へ移動します。
次に時刻の設定になります。
入力フォーマットは「時（HH）（24 時間）・分（MM）・秒（SS）」となります。
[SCAN]ボタンを押しますと、設定が完了されます。
[FN]ボタンを押しますと、設定がキャンセルされます。

日付設定画面



時刻設定画面

「セットアップ」画面（設定）の説明

「4.バーコードセッテイ」

バーコードシンボルの読み取り設定になります。
[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンを押すたびに「ヨミトル」・「ヨミトラナイ」の設定が切り替わります。
[SCAN]ボタンを押しますと、設定が完了され、次のバーコードシンボルの設定を行います。
[FN]ボタンを押しますと、設定がキャンセルされます。

「5.ツウシンセッテイ」

インターフェイスの選択、その他通信設定を行います。
オンラインでリアルタイム読み取り、別売りの USB キーボードインターフェイスケーブルを使用する際に設定を行います。
オンラインでリアルタイム読み取りの説明は P25～を参考にしてください。
別売りの USB キーボードインターフェイスケーブの説明は P31～を参考にしてください。

「セットアップ」画面（設定）の説明

「6.オートパワーオフセッテイ」

PDC が操作されなかった場合の自動電源オフの時間を設定します。可能な範囲は「なし」・「1 分」・「3 分」・「5 分」・「10 分」・「30 分」となります。
[Up（∧）]ボタンを押すたびに電源オフ時間が長くなります。
[Down（∨）]ボタンを押すたびに電源オフ時間が短くなります。
[SCAN]ボタンを押しますと、設定が完了されます。
[FN]ボタンを押しますと、設定がキャンセルされます。

「7.Set Pass Word」

パスワードを設定しますと、データのアップロード・データの削除・セットアップの際にパスワードの入力が必要になります。最大 8 桁までの数字が設定可能です。
[Up（∧）]ボタンを押すたびにカーソル位置の数値がカウントアップします。
[Down（∨）]ボタンを押すたびにカーソルが右へ移動します。
[SCAN]ボタンを押しますと、「パスワード確認」画面が表示されますので入力し、[SCAN]ボタンを押しますと設定が完了されます。
[FN]ボタンを押しますと、設定がキャンセルされます。

パスワードの解除は、設定画面で空白にしますと解除されます。

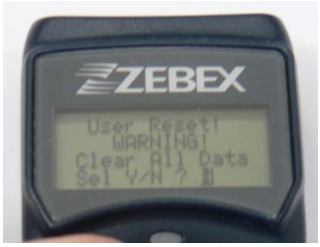
設定の初期化（工場出荷状態に戻す）

全ての設定をデフォルトに戻します。

① 電源が消えている状態で[SCAN]ボタンを長押し（3 秒ほど）します。

② [SCAN]ボタンを長押しすると LED が緑色に点灯しますので、[SCAN]ボタンを押したまま[FN]ボタンを押します。

③ 「リセット確認」画面が表示されます。
[Up（∧）]ボタン、[Down（∨）]ボタンで「Y（削除）」を選択し、[SCAN]ボタンを押します。初期化が開始されます。



設定の初期化（工場出荷状態に戻す）

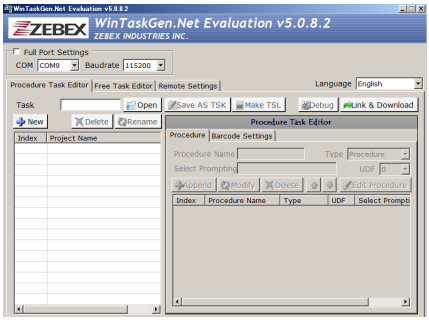
④ 初期化が完了しますと、「Finished reset Any key Next」と表示されます。
どのボタンでも構いませんので押しますと電源が切れて終了します。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明

ここではユーティリティソフト「WinTaskGen」について説明します。
「WinTaskGen」での PDC との通信・設定等は、製品同梱の USB シリアルインターフェイスケーブルのみで可能です。**別売りの USB キーボードインターフェイスはご使用いただけません。**

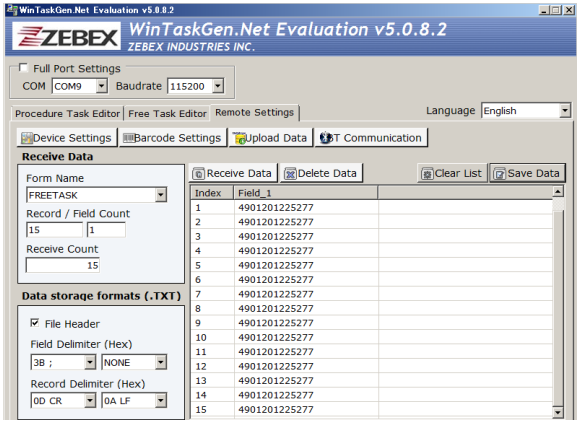
PDC を PC に接続して以下のことができます。

- PDC でスキャンしたバーコードデータの PC へのアップロード
- PDC 内のプログラム（タスク）の作成
- 作成したタスクを PDC へダウンロード
- バーコードスキャン時のフィルター設定
- COM ポートの通信設定
- PDC のその他の設定（時間、ビープ音等）



「アップロード」画面

PDC からデータのアップロード方法は P15～を参照してください。
ここでは、「アップロード」画面の各項目について説明します。

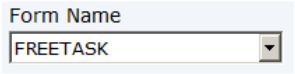


『「アップロード」画面』の続き

- [Form Name]コンボボックス

  PDC に入っているタスク（プログラム名）が表示されます。

  [Connect]ボタンより接続が確立されると表示されます。

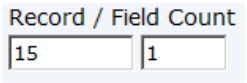


- [Records]テキストボックス

  [Upload]ボタンよりアップロードされたデータのレコード数が表示されます。

- [Fields]テキストボックス

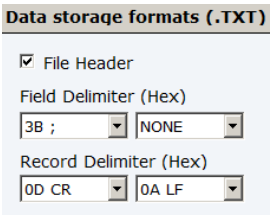
  [Upload]ボタンよりアップロードされたデータのフィールド数が表示されます。



- [File Header]チェックボックス

  PDC よりアップロードの際にヘッダー情報を付加するかしないかの設定になります。

  チェックを入れますと、[Save]より保存したテキストファイルにヘッダー情報が付加されます。



- [Field Delimiter]コンボボックス

  [Upload]ボタンよりアップロードされたデータの各フィールドに末尾に対して選択されているデータが付加されます。アップロードをする前に設定が必要です。

  「None」は何も付加されません。

  [データ]リストボックスには反映されません。（保存したテキストファイルに反映）

- [Record. Delimiter]コンボボックス

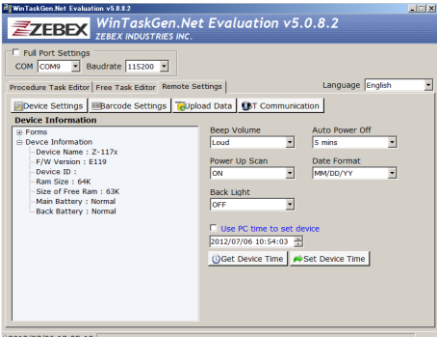
  [Upload]ボタンよりアップロードされたデータの 1 レコードの末尾に対して選択されているデータが付加されます。アップロードをする前に設定が必要です。「None」は何も付加されません。

  [データ]リストボックスには反映されません。（保存したテキストファイルに反映）

「WinTaskGen」ユーティリティの説明

「ステータス表示、各種設定」画面

PDC デバイスのステータスの表示、各種設定を行います。
設定できない項目もありますので、設定できる項目のみ説明します。
※PDC は「ブートアップスクリーン」画面にしておいてください。

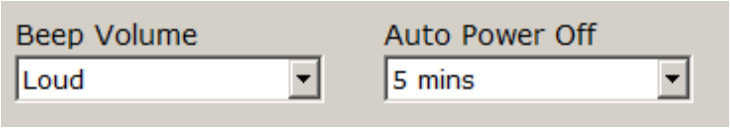


・ [Device Status]リストボックス
PDC の情報や状態が表示されます。

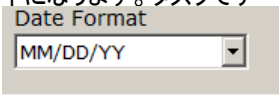
「WinTaskGen」ユーティリティの説明

『「ステータス表示、各種設定」画面』の続き

- [Beep Volume]コンボボックス
  ビープ音量の設定になります。
- [Auto Power Off]コンボボックス
  PDC が操作されなかった場合の自動電源オフの時間を設定します。

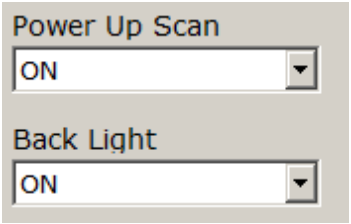


- [Date Format]コンボボックス
  日付のフォーマットの設定になります。「M」は月、「D」は日、「Y」は年になります。タスクでデータに日付を付加する場合に反映されます。



- [Date]および[Time]テキストボックス、[Auto]および[Set]ボタン
  日付、時間の設定になります。
  [Auto]ボタンをクリックしますと、PC のシステム日付より日付と時間を取得します。
  [Set]ボタンをクリックしますと、PDC に書き込まれます。

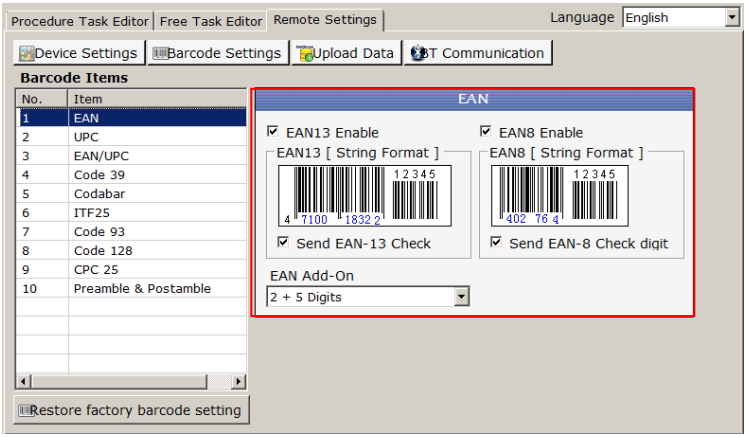
- [PowerUpScan][Back Light]は特に使用しません。



「WinTaskGen」ユーティリティの説明

「バーコード読み取り設定」画面

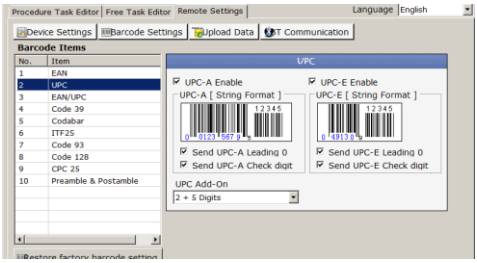
ここではバーコードシンボルの読み取りやその他設定になります。
画面左のツリービューの一番上位の階層をクリックしますと、画面右側に設定項目が表示されます。



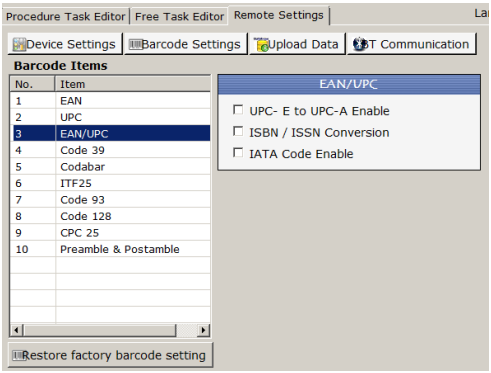
EAN/JAN

EAN13、EAN8、JAN13、JAN8　UPC の読み取り設定になります。

- [EAN13 Enable] [EAN13 Enable]チェックボックス
  チェックを入れますと、EAN、JAN、UPC のバーコードを読み取ります。
- [Send EAN-13 Check]
  チェックを入れるとチェックデジットを送信します。
- [EAN Add-On]
  アドオンの設定になります。必要な設定をお選びください。

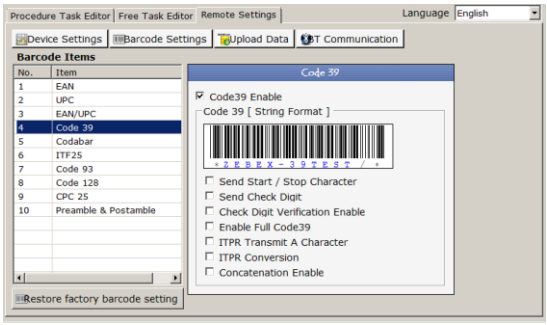


・ [UPC-A Enable]チェックボックス
　UPC-A チェックデジットを送信します。
・ [Send UPC-A Leading 0]
　UPC-A の先頭が 0 の場合 0 を送信します
・ [UPC-E Enable]チェックボックス
　UPC-E のチェックデジットを送信します。
・ [Send UPC-E Leading 0]
　UPC-E の先頭が 0 の場合 0 を送信します



・ [UPC-E to A Enable]チェックボックス
　チェックを入れますと、UPC-E を UPC-A に変換します。
・ [EAN to ISBN/ISSN]チェックボックス
　チェックを入れますと ISBN コードを読み取ります。
　※但し、最近の ISBN は 13 桁になりましたので、読み取りますと先頭の 3 桁を削除します。
・ [IATA codeEnable]チェックボックス
　IATA を使用の場合のみチェックを入れてください。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明

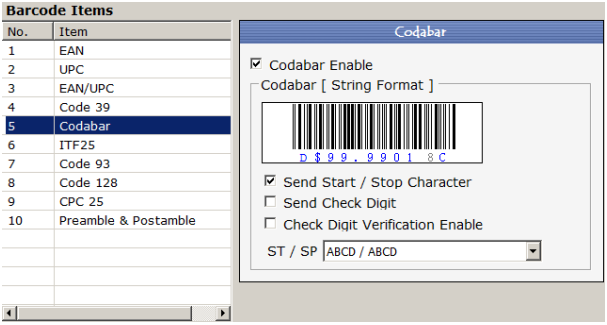


Code 39

Code 39 の読み取り設定になります。

- [Code 39 Enable]チェックボックス
  チェックを入れますと、Code 39 のバーコードを読み取ります。
- [Send Start/Stop Charactor]チェックボックス
  チェックを入れますと、スタート・ストップキャラクタを送信します。
- [Send Check Digit]チェックボックス
  チェックを入れますと、チェックデジットを送信します。
- [Check Digit Verication Enable]チェックボックス
  チェックを入れますと、チェックデジットの検証を行います。
  チェックデジットのないバーコードは読み取れません。
- [ITPR Transmit A Character][ITPR Conversion]
  [Concatenation Enable]以上は割愛させていただきます。
- [Enable Full Code39]チェックボックス
  チェックを入れますと、フルアスキーCode 39 も有効になります。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明



Codabar

Codabar（NW-7）の読み取り設定になります。

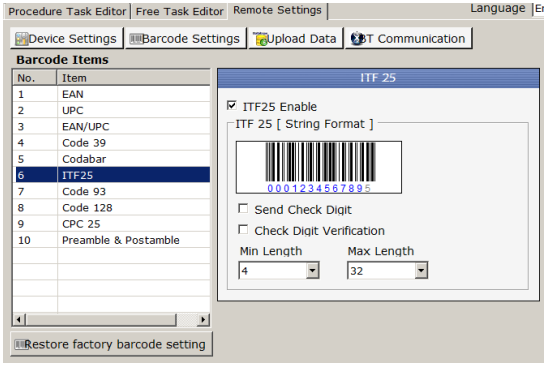
・ [CODABAR Enable]チェックボックス
　チェックを入れますと、Codabar（NW-7）のバーコードを読み取ります

・ [Send Start/Stop Character]チェックボックス
　チェックを入れますと、スタート・ストップキャラクタを送信します。

・ [Check Digit Verification Enable]チェックボックス
　チェックを入れますと、チェックデジットの検証を行います。
　チェックデジットのないバーコードは読み取れません。

・ [ST/SP]コンボボックス
　スタート・ストップキャラクタの送信フォーマットになります。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明



ITF 2 of 5

ITF（Interleaved 2 of 5）の読み取り設定になります。

- [ITF 2 of 5 Enable]チェックボックス
  チェックを入れますと、ITF（Interleaved 2 of 5）のバーコードを読み取ります。

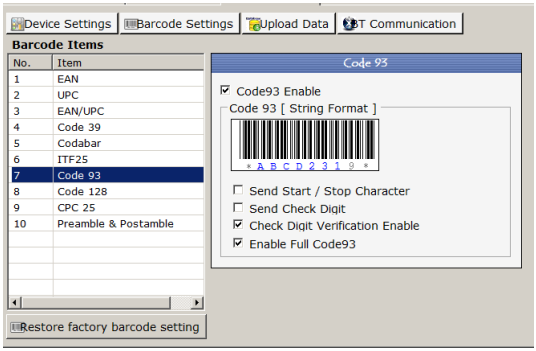
- [Send Check Digit]チェックボックス
  チェックを入れますと、チェックデジットを送信します。

- [Check Digit Verification]チェックボックス
  チェックを入れますと、チェックデジットの検証を行います。
  チェックデジットのないバーコードは読み取れません。

- [Max. Length]コンボボックス
  読み取り可能な最大桁数を選択して設定します。

- [Min. Length]コンボボックス
  読み取り可能な最小桁数を選択して設定します。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明



Code 93

Code 93 の読み取り設定になります。

・ [Code 93 Enable]チェックボックス
　チェックを入れますと、Code 39 のバーコードを読み取ります。

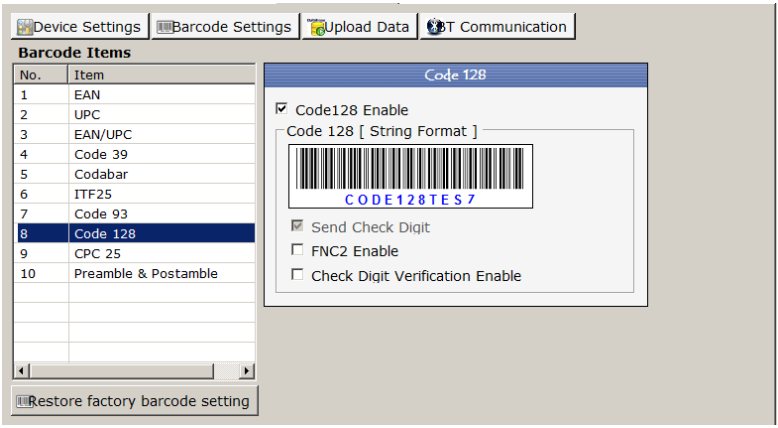
・ [Send Start/Stop Charactor]チェックボックス
　チェックを入れますと、スタート・ストップキャラクタを送信します。

・ [Send Check Digit]チェックボックス
　チェックを入れますと、チェックデジットを送信します。

・ [Check Digit Verication Enable]チェックボックス
　チェックを入れますと、チェックデジットの検証を行います。
　チェックデジットのないバーコードは読み取れません。

・ [Enable Full Code93]チェックボックス
　チェックを入れますと、フルアスキーCode 39 も有効になります。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明



Code 128

Code 128 の読み取り設定になります。

- [Code 128 Enable]チェックボックス
  チェックを入れますと、Code 39 のバーコードを読み取ります。

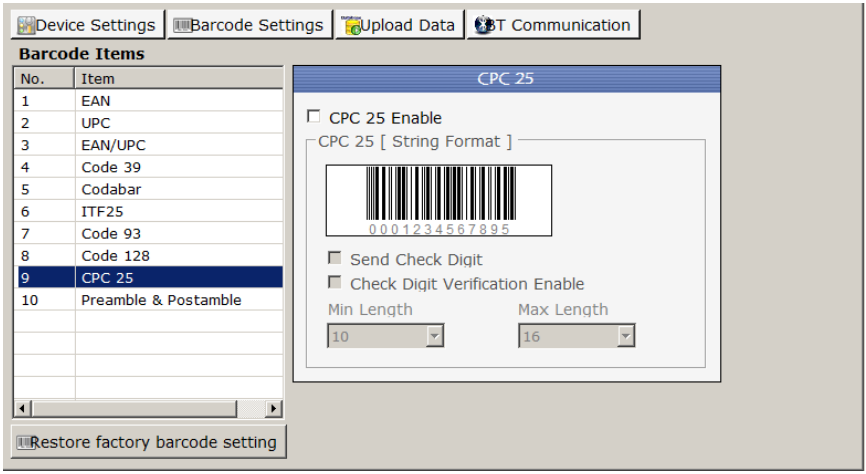
- [Send Check Digit]チェックボックス
  チェックを入れますと、チェックデジットを送信します。

- [FNC2 Enable]チェックボックス

  FNC2 が有効になります。

- [Check Digit Verication Enable]チェックボックス
  チェックを入れますと、チェックデジットの検証を行います。
  チェックデジットのないバーコードは読み取れません。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明



CPC 25

CPC 25（China Postal Code）の読み取り設定になります。

・ [CPC 25 Enable]チェックボックス
　チェックを入れますと、CPC 25（China Postal Code）のバーコードを読み取ります。

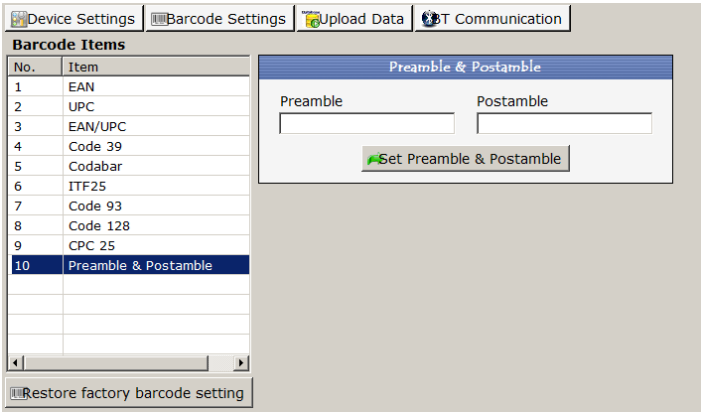
・ [Send Check Digit]チェックボックス
　チェックを入れますと、チェックデジットを送信します。

・ [Check Digit Verication Enable]チェックボックス
　チェックを入れますと、チェックデジットの検証を行います。
　チェックデジットのないバーコードは読み取れません。

・ [Max. Length]コンボボックス
　読み取り可能な最大桁数を選択して設定します。

・ [Min. Length]コンボボックス
　読み取り可能な最小桁数を選択して設定します。

「WinTaskGen」ユーティリティの説明



Preamble/Postanble

読み取ったデータの先頭・末尾に任意の文字列を付加します。

・ [Preamble]テキストボックス

データの先頭に付加する文字列を入力します。(最大 10 文字)

※半角英数字・記号のみ

・ [Postamble]テキストボックス

データの末尾に付加する文字列を入力します。(最大 10 文字)

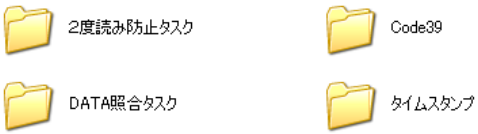
※半角英数字・記号のみ

・ [Set Preamble & Postamble]ボタン

Send ボタンをクリックしますと、Preamble・Postamble テキストボックスに入力された内容を PDC に書き込みます。

同梱 CD 内のサンプルタスクについて

ここでは製品同梱のサポート CD 内に入っているサンプルタスクの説明をします。
「Win Task Gen」を使用して PDC にダウンロードします。

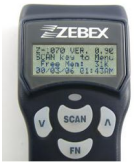


Code39

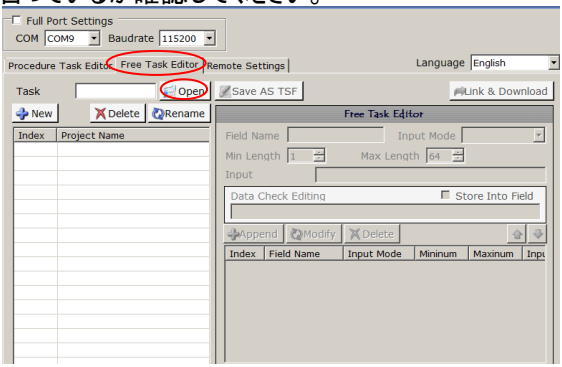
初期の PDC の設定では、Code39 の読み取り可能最大桁数は 16 桁となっております。このタスクをダウンロードすることにより読み取り可能最大桁数は 32 桁になります。

PDC へのダウンロード方法

① PDC をPC に接続して「ブートアップスクリーン」画面を表示しておきます。



② 「Win Task Gen」を起動して[Download Task]アイコンをクリックします。
※「Win Task Gen」を起動した際に「Set Comm error」等のメッセージが出た場合は、PDC の電源が入っており「ブートアップスクリーン」画面が表示されているか、通信設定の Com ポート番号が合っているか確認してください。

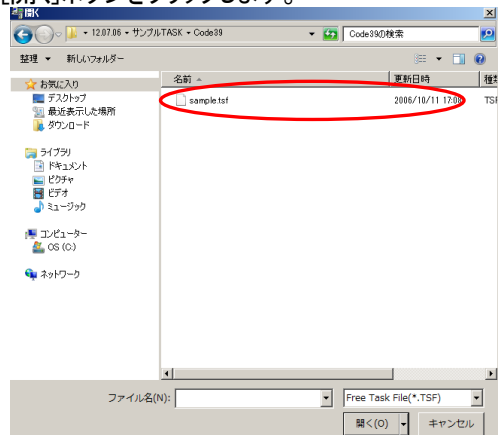


同梱 CD 内のサンプルタスクについて

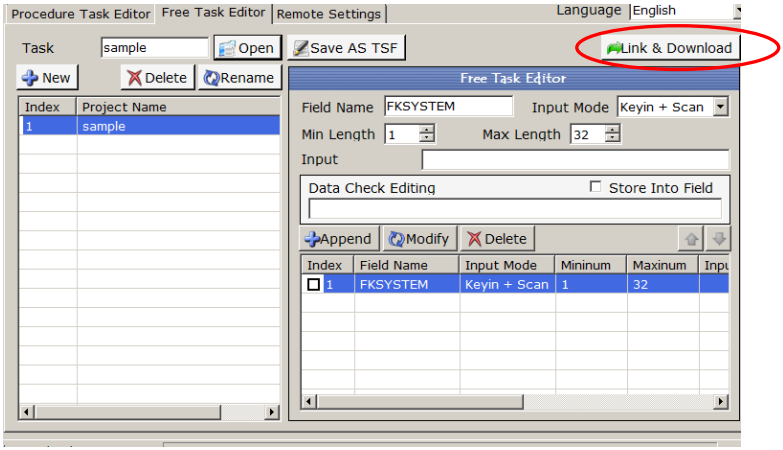
『Code 39』の『PDC へのダウンロード方法』の続き

③ ダイアログボックスが表示されましたら、[ファイルの種類]で「Form File」を選択し、「Code39」フォルダ内の「sample.tsf」を選択して[開く]ボタンをクリックします。

①



下図の画面になりますので、[LINK＆DOWNLOAD]ボタンを押していただければダウンロードが始まります。
ピッピッと音が鳴れば成功です。



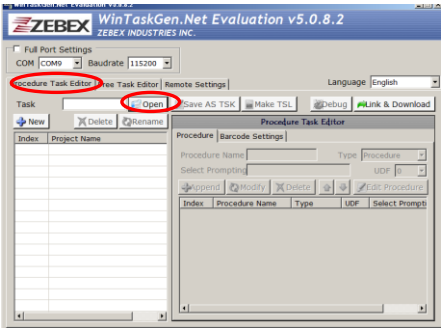
2度読み防止タスク

一度読み込んだデータと同じデータの読み込みを防止します。
一度読み込んだデータ以外のデータは通常通り蓄積されます。
同じデータを読み込むと、PDC の画面に「NG」と表示されます。次のデータを読み取る場合は、[SCAN]ボタンを押します。

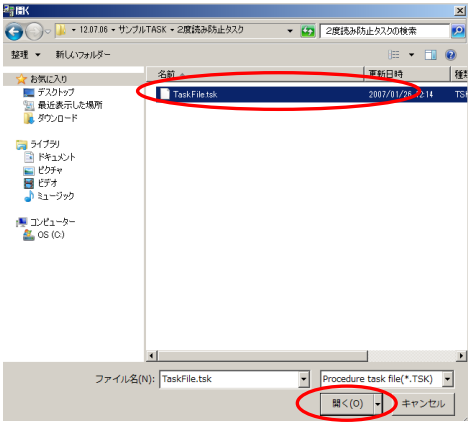
PDC へのダウンロード方法

② PDCをPCに接続して「ブートアップスクリーン」画面を表示しておきます。

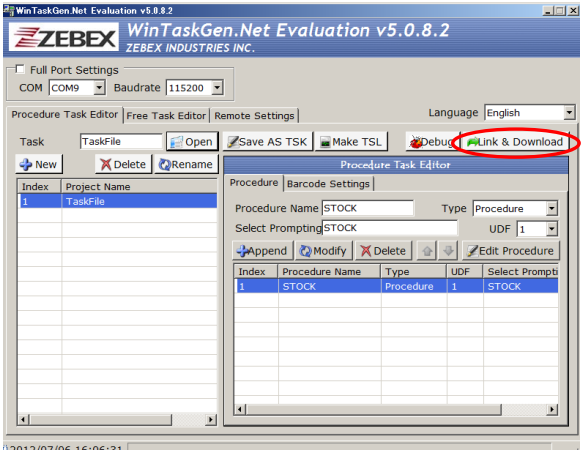
③ 「Win Task Gen」を起動して[Download Task]アイコンをクリックします。
※「Win Task Gen」を起動した際に「Set Comm error」等のメッセージが出た場合は、PDC の電源が入っており「ブートアップスクリーン」画面が表示されているか、通信設定の Com ポート番号が合っているか確認してください。



④ ダイアログボックスが表示されましたら、[ファイルの種類]で「TASK File」を選択し、「2度読み防止タスク」フォルダ内の「TaskFile.TSL」を選択して[開く]ボタンをクリックします。



⑤ 下図の画面になりますので、[LINK＆DOWNLOAD]ボタンを押していただければダウンロードが始まります。
ピッピッと音が鳴れば成功です。



同梱 CD 内のサンプルタスクについて

DATA 照合タスク

最初にマスタとなるデータを読み込ませておき、それからデータをスキャンしてマスタと同一であるかをチェックします。

データの蓄積・アップロード機能はありません。

「データ読み取り」画面で「Pls input source」と表示されますので、マスタとなるバーコードをスキャンします。

次に「Pls Input Data」と表示されますので、照合を行うバーコードをスキャンします。

スキャンして「OK」と出た場合は、マスタのデータと一致しています。[SCAN]ボタンをクリックすると次のバーコードを読み取る準備ができます。

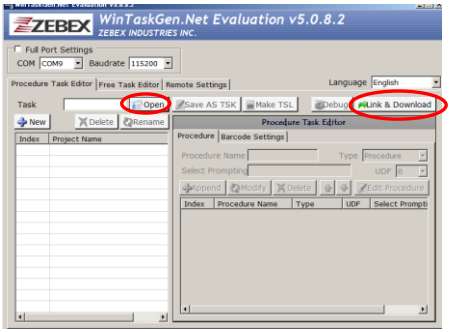
スキャンして「NG」と出た場合は、マスタのデータと一致していません。

「SCAN」ボタンをクリックすると「Pls input source」と表示されますので、マスタとなるバーコードを再びスキャンします。

PDC へのアップロード方法

① PDC を PC に接続して「ブートアップスクリーン」画面を表示しておきます。

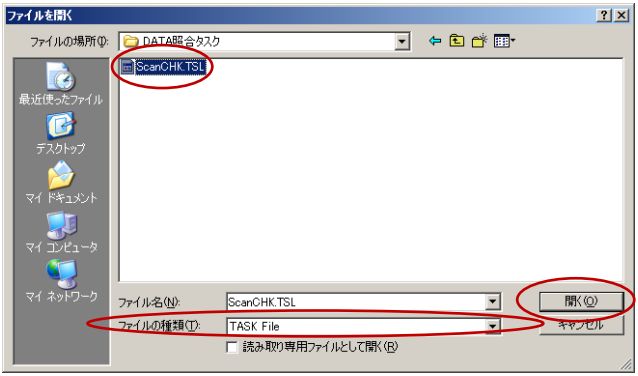
② 「Win Task Gen」を起動して[Download Task]アイコンをクリックします。
※「Win Task Gen」を起動した際に「Set Comm error」等のメッセージが出た場合は、PDC の電源が入っており「ブートアップスクリーン」画面が表示されているか、通信設定の Com ポート番号が合っているか確認してください。



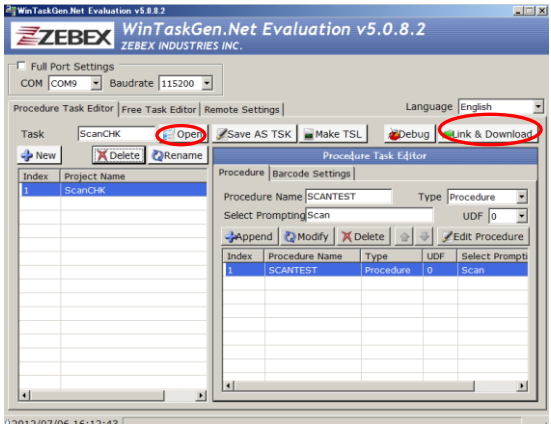
同梱 CD 内のサンプルタスクについて

『DATA 照合タスク』の『PDC へのダウンロード方法』の続き

③ ダイアログボックスが表示されましたら、[ファイルの種類]で「TASK File」を選択し、「DATA 照合タスク」フォルダ内の「ScanCHK.TSL」を選択して[開く]ボタンをクリックします。
※画面は XP の場合です。



④ 下図の画面になりますので、[LINK＆DOWNLOAD]ボタンを押していただければダウンロードが始まります。
ピッピッと音が鳴れば成功です。



同梱 CD 内のサンプルタスクについて

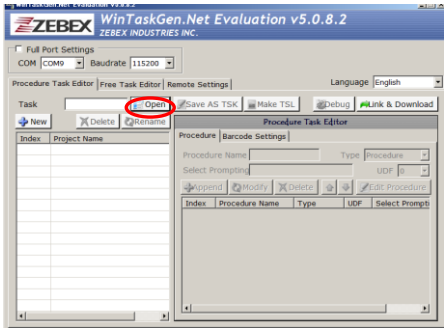
タイムスタンプ

読み取ったバーコードデータにタイムスタンプを付加します。
読み込んだデータは通常通り、蓄積・アップロードが可能です。
付加されるタイムスタンプは 2 種類あります。
「time01.tsl」・・・「月/日/年/時/分/秒」が付加
「time02.tsl」・・・「月/日/時/分」が付加

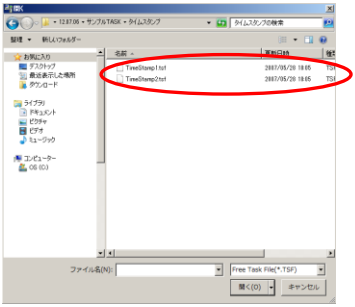
PDC へのアップロード方法

① PDC を PC に接続して「ブートアップスクリーン」画面を表示しておきます。

② 「Win Task Gen」を起動して[Download Task]アイコンをクリックします。
※「Win Task Gen」を起動した際に「Set Comm error」等のメッセージが出た場合は、PDC の電源が入っており「ブートアップスクリーン」画面が表示されているか、通信設定の Com ポート番号が合っているか確認してください。



③ ダイアログボックスが表示されましたら、[ファイルの種類]で「Form File」を選択し、「タイムスタンプ」フォルダ内の「time01.tsf」もしくは「time02.tsf」を選択して[開く]ボタンをクリックします。



④ ダウンロードが開始され、PDC からビープ音が鳴り完了されます。